

特別対談

LPガスが持つポテンシャル



ヨーアガス日本代表取締役

上蘭真步氏

知識」としての語彙がされている。

上園 多忙なスケジュールがあるとのことで、早速
にも拘らず、今回の対談を快
諾していただきありがとうございます」
私は、2015年に「パリで
開催されたCOP21で、「パ
リ協定」が締結され、気候變
化の会議の後、大事な予定

脱炭素社会に向け再評価

コアガス日本代表取締役
上園真歩氏



世界IPガス協会(WI PGA)常務理事

マイケル・ケリー氏

3月6日・7日の2日間、東京会場で開催された「Japガス国際セミナー」。201-8」での講演のために来日した世界Japガス協会のマイケル・ケリー常務理事と、Japガス日本の上園真歩代表取締役が、同社東京事務所で「Japガスの将来」を主テーマに対談を行った。今回はその一部を紹介する。

動に対して国際社会が果たすべき枠組みが決められたことは、人類にとって極めて意義あることであると思います。最終目標は脱炭素社会を構築することになりますが、これまで述べたように、この脱炭素社会と関連して、レバガス業界の将来像をどう描いておられますでしょうか。

1

“LPガスの将来は開かれていく”

そのメリットを全世界へ

当社は、電力小売り販売が完全自由化になった2010-11年4月、本格的に電力事業に参入しました。電力を外部から購入して小売りする現行の電気事業の低採算性と、低炭素社会の到来に備えて、再生可能エネルギーも視野に入れておりま

この電力消費量を踏まえ、
は、ピーク時の消費電力量と
予備電力量(バックアップ用)
として予備装置を考慮する
6万キロワットのガススタービン
電機が2基必要となります。
私自身、比較的短期的な需
力供給手段として、LPGガス
タービン発電装置に興味を
持っています。

界の持続可能な成長を可能とし、業界にとってまさに救主となるはずです。

電力や燃料の温室効果ガス(GHG)の排出量の定義を法律で定め、公式の場においては、実際に則すよう採掘から排出する温室効果ガス量を算出する「カーボンフットプリント」が、このへんに現れるべきです。

であります。Aが策定したJEPガス発出量では、温差効果ガス排出量で、カーボンフットプリント基準で比較しています。言つてでもなく、カーボンフットプリント基準が採り入れるべきです。

超え、その消費電力は年間2千万キロワットと推定しています。建設について最近の動向を聞きしたいのですが。

基準値に基づいてあること
が、必ず。
今もなお、実際に販売し
てある車の燃費基準値は、
使用時点で排出される過
程力入排出量基準値をべ
で気候変動の問題が議論
されています。

り決めであるだけに、米国は
はじめ電力業界の国や地方
治体に対する強力な影響力
を考えると、カーボンフット
プリントの概念を理解させ、
それぞれのエネルギー政策に
で浸透させるのは容易いよ
うに思える。

私は機会あることに、ケリーさんと同じ理由をあげ、目標とする脱炭素社会に至るまで、JPGASは現在よりも有用なエネルギーとなるのではないかと説いています。

ガススタービン発電に期待

ケリー WLPGAが関わっているJPGASの新規需要開拓について触れてみたいと思います。この計画は、2030年までに、アフリカ諸国の中、10億人の家庭燃料をプロパンに替え、旱死からの救うことです。

Lifeは、国連指導の下に進められているプロジェクトです。発展途上国の25億人は、厨房に薪や枯れ枝を使っていますので、屋内大気汚染をもたらし、これが原因で数多めると聞いております。

上園 WLPGAは、JPGASの新規需要開拓分野として、JPGASタービン発電装置に大きな期待をかけておりま

ガス業界に携わるすべての組織
にあると思います。近年、多くのLPGガス販売事業者が登場し、LPGガスの魅力を強調しながら、ピールするためのパンフレットを要望する声が高まり、世界的に権威ある機関からの報道をベースに、昨年「LPGスエッセンス憲章」として策定しました。10数ヶ国語で翻訳するなどして、日本語訳（日本版）となり、日本国内の宣伝を貴社にお願いした次第です。

上園 私は、日本語訳とも、の国内宣伝の命を受けたことを、大変光栄に存じております。

とりわけ、燃料や電力の消費効率ガス排出量が、エネルギー

ガ入社7年前に業務契約締結し、その後ますます関係を深めていよいよお知りであります。ロンドンフォーラムでの演説を通過して、あなたのとを熟知していますので、後とも、協力して業界を盛上げていきましょう。